

3 人づくり

～郷土を愛し、丈夫な体と深い知性を持つ
心豊かな市民が育つまち～

基本政策
3-1

子育て環境の充実

～子育てに喜びを感じ、安心して、健やかな成長を育んでいます～

政策の方針

少子化が進行する中、花巻の次世代を担う就学前の子どもたちが健やかに育つためには、子育て環境の充実を図る必要があります。

そのために、親が安心して子育てができるように様々な支援を行います。また、子どもが基本的な生活習慣*を身につけられるよう家庭の教育力向上を図るとともに、保育園、幼稚園から小学校へスムーズな接続ができるように就学前教育*に取り組みます。

(市民や企業に期待される役割)

◇市民の役割(地域、市民団体等を含む)

- ・各種子育て支援事業や行事等への積極的な参加や協力
- ・家族が互いに協力し支え合う子育て
- ・基本的な生活習慣*の重要性の理解
- ・地域の子どもに関心を持つ
- ・世代間交流の機会の創出と参加
- ・地域ぐるみの見守り活動の推進
- ・子どもの人権の尊重

◇企業の役割(事業所、個人生産者等を含む)

- ・育児休暇の取得や勤務時間短縮の推進
- ・企業内託児所の整備
- ・各種子育て支援事業や行事等への積極的な参加や協力

成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H28 目標値	H35 目標値
子育てしやすいまちだと感じる市民の割合	保護者が安心して子育てできるよう市が行う子育て支援に対する総合的な満足度を示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	57.3%	61.0%	65.0%

関連計画

- 花巻市保健福祉総合計画(平成 24～33 年度)
- 花巻市教育振興基本計画(平成 19～27 年度)
- 花巻市就学前教育プログラム(平成 21～27 年度)

施策1 子育て支援の充実

◇目指す姿

安心して子育てしています

◇現状と課題

- ・地域のつながりの希薄化や核家族化などにより、子育て環境が不安定化・孤立化する傾向にあり、子育てにおける不安や悩みに関する相談が増加しています。
- ・子どもが乳児の時期から就労している父母の増加に伴う保育所入所率の上昇により、延長保育や一時預かりなどの保育ニーズの多様化が見られます。
- ・児童虐待が大きな社会問題となっており、本市においても児童虐待に関する相談が増加しています。

◇施策の方向

(1) 子育て支援体制の強化

- ・子育て相談体制の充実
- ・障がい児等に対する相談支援の充実
- ・子育て家庭等の経済的負担の軽減

(2) 保育サービスの充実

- ・多様な保育ニーズに対応した保育サービスの充実
- ・待機児童の解消

(3) 地域における子育て支援の推進

- ・地域全体で子育てを支援する意識の啓発
- ・地域における子育て支援活動の支援
- ・保育所、幼稚園を活用した地域教育力向上の支援
- ・地域と連携した学童クラブの運営
- ・学童クラブの施設整備
- ・子育てサークル、子育てボランティアの育成支援

(4) 児童虐待防止対策の充実

- ・関係機関の連携や地域等での見守りの推進

政策 3-1 子育て環境の充実

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
市の子育て相談体制に満足している保護者の割合	子育てに関する保護者の不安等を解消する環境となるよう、その相談体制の充実度に対する保護者意識を示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（3歳児検診アンケート）	84.2%	86.0%	88.0%	90.0%
子育て支援サービス（延長保育、一時預かり保育、体調不良児保育）を実施可能な施設の割合	多様化する保護者の保育ニーズに対応する保育施設が充実するよう、子育て支援サービス実施可能な施設の状況を示す指標です。増加を目指します。	56.9%	57.8%	58.8%	59.8%
保育所の待機児童数	保護者が仕事と家庭の両立に資する子育てサービスの充実状況を示す指標です。待機児童の解消を目指します。 3月入所調整後の3月1日現在の待機児童数	33人	31人	29人	0人

政策3-1 子育て環境の充実

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
小学生医療費助成事業 （国保医療課）	小学生の保護者が安心して子育てができるよう、医療費を助成して経済的負担を軽減する。	161
放課後児童支援事業 （こども課）	児童の健全育成を図るため、放課後や長期休暇などの安心安全な居場所づくりと地域の交流を促進する。	161
放課後児童支援事業（学童クラブ整備・改修分） （こども課）	学童クラブの安全安心な生活の場としての環境を保つため、施設整備及び必要な施設改修を行う。	161
子育て推進事業 （こども課）	子ども・子育て支援事業計画の推進と、子育て支援に関する情報提供を行う。	161
第3子以降保育料負担額軽減事業 （こども課）	安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを推進するため、第3子以降の保育料を負担軽減する。	161
保育施設環境整備支援事業 （こども課）	市内私立保育園の適正な保育環境整備を支援するため、施設整備に係る償還金に対して補助する。 H26：土沢保育園、新堀保育園、八幡保育園 H27：土沢保育園、新堀保育園、八幡保育園 H28：土沢保育園、新堀保育園	161
保育サービス向上支援事業 （こども課）	私立保育園での多様な保育サービスを提供するため、地域での子育て活動などに支援する。	161
児童養育事業 （こども課）	児童を適正に養育するため、家庭において一時的に養育が困難になった児童の養育・保護を行う。	161
地域子育て支援センター事業 （こども課）	子育て家庭を支援するため、子育て中の親子の交流促進、子育て相談、講習会、情報提供を行う。また、地域の子育て支援情報ネットワークを構築し、地域で子育て家庭を支援する地域づくりに努める。	161
はなまきファミリーサポートセンター事業 （こども課）	子育て家庭の負担の軽減を図るため、有償ボランティアによる児童のあずかり・送迎等を行う。	161
こども発達相談センター整備事業 （こども課）	こどもの発達に係る相談や早期療育の指導の場である現在のこども発達相談センターの老朽化に伴い、調査を行ったうえで改修又は改築により施設整備を行う。	161

施策2 家庭の教育力向上

◇目指す姿

子どもが基本的な生活習慣*を身につけています

◇現状と課題

- ・保護者の就労形態の多様化、核家族化などにより、親子の触れ合いの時間や経験豊かな祖父母などから学ぶ機会が減少しています。
- ・子育てにおける保護者の価値観が多様化し、過保護、過干渉、放任などの問題が生じ、生活リズムや食生活の乱れなど基本的な生活習慣*が身につけていない子どもが見られます。

◇施策の方向

(1)家庭の教育力向上

- ・子育てに関する幅広い情報の提供
- ・保護者研修会等の学習機会の充実
- ・子育て相談機会の充実

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
基本的な生活習慣*が身につけている子どもの割合	子どもが心身ともに健康に育つための生活の基盤となる基本的な生活習慣*の確立の状況を示す指標です。現状の高い割合を維持します。 <small>出典：花巻市（基本的な生活習慣*保護者アンケート）</small>	78.3%	80.0%	80.0%	80.0%

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
家庭教育力向上事業 (こども課)	就学前教育*の充実のため、家庭、保育園、幼稚園、小学校及び地域が連携して心身ともに健全な子どもを育成できるよう支援、情報提供を行う。	162

施策3 就学前教育*の充実

◇目指す姿

保育園、幼稚園から小学校へスムーズな接続ができています

◇現状と課題

- ・市内には、公立 15 園・法人立 20 園の保育園と、公立 2 園・法人立 7 園の幼稚園がありますが、園舎の老朽化や入園者数の地域的偏りが見られます。
- ・子どもたちの生活様式が大きく変化しているなか、車での移動やゲーム機での遊びの増加等による体を動かす機会の減少や、幼児の同年代や地域の人々と交流する機会の減少により、体力や運動能力、コミュニケーション能力の低下が見られます。
- ・小学校入学後、新しい環境に馴染めない子どもや基本的な生活習慣*が身につけていない子ども、人の話を聞けない子ども等が見られます。

◇施策の方向

(1) 保育・教育環境の充実

- ・公立保育所、幼稚園の施設整備
- ・公立保育所の再編
- ・私立幼稚園の振興に対する支援

(2) 就学前教育*の充実

- ・市内全園の保幼小一体による就学前教育*の推進
- ・保育、教育の充実
- ・保幼小接続期カリキュラム実践等の保幼小の連携推進
- ・児童期の発達に対する適切な支援
- ・地域の人材の活用促進

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
小学校入門期（小学校 1 年生の 4～5 月）における学校生活への適応率	保育園、幼稚園から小学校における「保幼小接続のカリキュラム」を活用し保育、教育の成果を示す指標です。現状の高い割合を維持します。 出典：花巻市（小学校 1 年生担任アンケート調査）	82.5%	85.0%	85.0%	85.0%

政策 3-1 子育て環境の充実

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
保育所保育環境充実事業 （こども課）	公立保育園の安心安全な保育環境を保つため、保育環境整備及び計画的な維持管理を行う。	162
はなまき保幼一体研修事業 （こども課）	市内保育園、幼稚園の職員の資質を向上し、就学前の保育・教育の充実や小学校へのスムーズな接続を図るため、外部講師を導入した研修を行う。	162
幼児ことばの教室事業 （こども課）	ことばに課題のある就学前の子どもが表現能力を十分発揮できるようにするため、コミュニケーションの大切な手段の一つであることばに関する課題を早期に発見し、一人ひとりの発達を考慮した指導を行う。	162
ニコニコ元気っ子事業 （こども課）	市内保育園、幼稚園児の運動意欲を引き出し、健全な心身の発達を促すため、コーディネーショントレーニング*（通称COT）の研修会、教室を実施する。	162
幼稚園教育環境充実事業 （こども課）	幼稚園教育の充実を図るため、幼稚園における教育環境の整備を行う。	162

基本政策
3-2

学校教育の充実

～夢と希望を持ち、たくましくいきいきと育っています～

政策の方針

花巻の次世代を担う児童・生徒が、夢と希望を持ちたくましく育つためには、学校教育の充実を図る必要があります。

そのために、児童生徒の学力や体力の向上を図るとともに、郷土を愛し、自己肯定感*や思いやりのある豊かな人間性を育みます。また、すべての子どもが毎日いきいきと学校生活を送ることができよう特別な支援を要する子どもへの支援体制の充実を図るほか、適正で安全な教育環境の整備と家庭や地域との連携を推進します。

(市民や企業に期待される役割)

◇市民の役割(地域、市民団体等を含む)

- ・学校の教育活動等に対する地域からの支援、助言
- ・児童生徒の安全のための見守り、指導
- ・地域住民との交流事業の企画、参加
- ・学校行事への積極的な参加
- ・体験学習(地域学習)での講師
- ・家庭での基本的な生活習慣の確立、家庭学習時間の確保、運動機会の拡充、食育の推進
- ・学校統合や学区再編に対する学校、PTA、地域の理解と協力

◇企業の役割(事業所、個人生産者等を含む)

- ・キャリア教育*への支援
- ・学校教育活動への理解と支援

成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H28 目標値	H35 目標値
夢と希望を持って生活している児童生徒の割合	夢や希望を持って生き生きと生活する児童生徒の割合を示す指標です。増加を旨します。 <small>出典：岩手県(学習定着度状況調査)</small>	小 84.0% 中 69.5%	小 88.0% 中 75.0%	小 90.0% 中 80.0%

関連計画

○花巻市教育振興基本計画(平成 19～27 年度)

施策1 学力・体力の向上

◇目指す姿

児童生徒の学力・体力が向上しています

◇現状と課題

- ・少人数指導等の充実により児童生徒の基礎的な知識・技能の定着度は確実に向上していますが、基礎基本を活用する力の育成が十分とはいえない状況です。
- ・日常の運動が習慣化されていないことにより、小学校児童の体力・運動能力が低下傾向にあります。
- ・食生活や生活習慣の変化により、肥満傾向の児童生徒の割合が若干増加傾向にあります。

◇施策の方向

(1) 学力の向上

- ・学習支援員による少人数指導の充実
- ・学力向上のための特色ある実践的な学校の取組みの推進
- ・研修会等の実施による教員の授業力向上

(2) 健やかな体の育成

- ・体育指導の充実
- ・体力向上のための特色ある実践的な学校の取組みの推進
- ・小学校体育連盟及び中学校体育連盟事業に対する支援
- ・児童生徒検診の実施や学校保健活動の充実
- ・学校給食を通じた食育指導の充実

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
教科学習における基礎基本の定着度（県平均を100とした場合の対比）	児童生徒の「確かな学力」の定着状況を示す指標です。小学校は現在の高い水準を維持し、中学校は増加を目指します。 <small>出典：岩手県（学習定着度状況調査）</small>	小 105.4% 中 99.3%	小 105.0% 中 100.5%	小 105.0% 中 101.0%	小 105.0% 中 101.5%
児童生徒の「体力・運動能力調査」の全国平均を上回る項目割合	児童生徒の体力・運動能力の状況を示す指標です。増加を目指します。 <small>出典：文部科学省（体力・運動能力調査）</small>	小 46.9% 中 85.4%	小 53.1% 中 87.5%	小 59.4% 中 89.6%	小 65.6% 中 91.7%

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
学力向上推進事業 (小中学校課)	児童生徒の学力向上のため、外部講師による模範授業と講義を実施し教師の授業力向上を図るとともに、授業サポーターの配置による少人数指導の充実を図る。	162
体力向上実践推進事業 (小中学校課)	基礎体力の向上を図るため、基礎体力の向上に対する取り組みを行う実践校を指定し、その取り組みを支援する。	162

施策2 豊かな人間性の育成

◇目指す姿

児童生徒が、郷土を誇りとし、自己肯定感*や思いやりの気持ちを持っています

◇現状と課題

・多くの人と触れ合う機会の減少や自然体験・社会体験の不足により、協調性・責任感・規範意識などが低下している状況から、人間としてのよりよい生き方について自覚を深め実践する児童生徒を育成する必要があります。

◇施策の方向

(1)豊かな人間性の育成

- ・国際理解教育の推進
- ・道徳教育の充実
- ・地域体験学習の充実
- ・地域と連携したキャリア教育*の推進
- ・生徒会におけるボランティア活動に対する支援
- ・芸術文化活動の推進
- ・児童生徒表彰

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
自己肯定感*を持った児童生徒の割合	自己肯定感*を持つ児童生徒の状況を示す指標です。増加を目指します。 <small>出典：岩手県(学習定着度状況調査)</small>	小 75.5% 中 64.5%	小 77.0% 中 66.0%	小 78.5% 中 68.0%	小 80.0% 中 70.0%
親切・思いやりの心を持った児童生徒の割合	児童生徒の豊かな人間性や社会性を示す指標です。増加を目指します。 <small>出典：岩手県(学習定着度状況調査)</small>	小 94.5% 中 91.0%	小 95.0% 中 91.5%	小 95.5% 中 92.0%	小 96.0% 中 92.5%

◇主要事業

事業名(担当課)	事業概要	掲載P
児童・生徒表彰事業 (小中学校課)	知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成に寄与するため、体育文化等の活動において、顕著な成績を収めた児童生徒を表彰する。	162
生徒会ボランティア活動支援事業 (小中学校課)	市内中学生の社会参画*意識を育成するため、生徒会によるボランティア活動を支援する。	162
復興教育学校支援事業 (小中学校課)	東日本大震災からの復興・発展を支える児童生徒を育成するため、県が指定する推進校等が実施する復興教育を支援する。	162

施策3 特別支援体制の充実

◇目指す姿

すべての児童生徒が、毎日いきいきと学校生活を送っています

◇現状と課題

- ・不登校、別室登校児童生徒数は減少傾向にあるものの、児童生徒を取り巻く環境の変化とともに、その原因は多様化・複雑化しています。
- ・LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥多動性障がい)等の軽度発達障がい児を含め、障がいの多様化と保護者ニーズの多様化が進んでいることから、通常学級に在籍する特別支援対象児が増加し、学校における受入れ態勢の確保が課題となっています。

◇施策の方向

(1)学校適応指導の充実

- ・教育相談の充実
- ・生徒支援員による不登校児童生徒への支援の充実

(2)特別支援教育の推進

- ・研修会等の実施による特別支援教育の理解促進
- ・特別支援教育支援員による児童生徒の個に応じた支援の充実

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
不登校児童生徒の出現率	不登校児童生徒（年間 30 日以上欠席）の状況を示す指標です。減少を目指します。 出典：文部科学省（問題行動等調査）	小 0.23% 中 1.63%	小 0.20% 中 1.53%	小 0.15% 中 1.43%	小 0.10% 中 1.33%
個別の教育支援計画作成の割合	「個別の教育支援計画」の作成状況を示す指標です。H28 までに 100%を目指します。 出典：岩手県（特別支援教育体制整備状況調査）	小 42.1% 中 20.0%	小 60.0% 中 45.0%	小 80.0% 中 70.0%	小 100.0% 中 100.0%

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
特別支援事業 (小中学校課)	特別な支援を必要とする児童生徒が、生き生きと学校生活を送ることができるよう、生活・学習支援を行うとともに、不登校・不登校傾向にある児童生徒に対する支援を行う。	163

施策4 教育環境の充実

◇目指す姿

適正で安全な施設環境が整い、家庭・地域と連携した学校教育が行われています

◇現状と課題

- ・家庭環境や保護者の価値観が多様化している状況のなか、学校と家庭、地域が一体となって子どものためにより効果的な教育を行うための、相互の信頼関係が希薄になっています。
- ・児童生徒の数は、平成18年の8,862名から平成25年の8,040名と減少しており、小規模校の出現や複式学級化が見られます。
- ・近年、夏の時期は猛暑の年もあり、暑さに対する児童生徒の健康管理が懸念されています。
- ・学校施設においては、老朽化の進行が見られます。
- ・市内の私立学校では活力と特色ある学校運営が行われています。

◇施策の方向

(1) 地域に開かれた学校づくり

- ・地域の安全指導体制の強化
- ・教育活動の積極的な公開
- ・家庭、地域との協働*による学校運営の推進
- ・家庭、地域の教育力向上のための支援

(2) 教育環境の充実

- ・少子化による児童生徒減少に対応した学区再編
- ・私立高校の振興に対する支援
- ・安全安心で快適な学習環境の計画的な整備
- ・高校以上の修学に対する支援

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
地域との協働*による教育活動に取り組んでいる学校の割合	地域との協働*による教育活動に取り組み、地域に開かれた学校づくりの推進状況を示す指標です。H27までに100%を目指し、維持します。 出典：花巻市（小中学校アンケート）	93.3%	96.7%	100%	100%

政策3-2 学校教育の充実

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
小中学校学区再編成等調査事業 （教育企画課）	活力ある教育環境の創出を図るため、複式学級の解消や学校統廃合を含めた学区再編を視野に入れ、現状認識のための情報提供や、学区再編への調査を行う。	163
小学校施設維持事業 （教育企画課）	良好な学習環境の維持と安全・安心な学校運営のため、施設の維持管理・長寿命化を図る。	163
中学校施設維持事業 （教育企画課）	良好な学習環境の維持と安全・安心な学校運営のため、施設の維持管理・長寿命化を図る。	163
湯口中学校校舎改築事業 （教育企画課）	老朽化した湯口中学校校舎の安全確保のため、学校の適正規模を見通し、安全・快適な教育環境を整備する。	163
大迫中学校校舎改築事業 （教育企画課）	老朽化した大迫中学校校舎の安全確保のため、学校の適正規模を見通し、安全・快適な教育環境を整備する。	163
学校給食施設基本方針策定事業 （小中学校課）	今後の学校給食施設の在り方に関する基本方針を策定する。	163

基本政策
3-3

生涯学習の推進

～生涯を通して学び、広い視野を持ち、活動しています～

政策の方針

社会経済情勢の変化への対応や地域課題の解決に向け、市民が生涯を通して学び、広い視野を持ち、活動していくためには、学習や活動のための環境づくりが必要です。

そのために、市民が自主的に生涯学習活動ができるよう支援を行います。また、地域と連携して青少年の自立に向けた育成を推進するほか、国際都市の実現に向け、市民の国際理解の醸成を図ります。

(市民や企業に期待される役割)

◇市民の役割(地域、市民団体等を含む)

- ・地域の生涯学習講座の企画、参加
- ・地域の生涯学習施設の積極的活用
- ・日常的に学ぶことを習慣とする
- ・学習成果を発表する機会の創出
- ・生涯学習の成果を生かした地域づくり活動の推進
- ・親子のふれあいの充実
- ・青少年の積極的な地域活動への参加
- ・国際交流イベントへの参加

◇企業の役割(事業所、個人生産者等を含む)

- ・生涯学習活動に対する理解と支援
- ・各種生涯学習講座への講師の派遣
- ・家庭や地域での青少年育成への理解と支援
- ・国際フェア等の国際理解に係る事業への支援

成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H28 目標値	H35 目標値
学習テーマを持って日頃学習に取り組んでいる市民の割合	市民が日ごろから物事に関心を持って自主的な学習活動に取り組んでいる状態を示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	34.1%	40.0%	50.0%

関連計画

- 花巻市教育振興基本計画(平成 19～27 年度)
- 花巻市生涯学習振興計画(平成 20～27 年度)
- 花巻市子ども読書活動推進計画(平成 24～28 年度)

施策1 自主的学習の推進

◇目指す姿

自主的な生涯学習活動を活発に行っています

◇現状と課題

- ・市民一人ひとりのライフスタイルや生活課題が多種多様化しているなかで、市民は心の豊かさや健康で生きがいのある生活を求めており、自己の充実を図る上で、生涯学習に対する関心が高まり、学習活動に対するニーズが多様化しています。
- ・近年は、個人の学習や受動型の学習ばかりではなく、地域特性に応じた学習や公共的課題を解決するための学習など、仲間づくりとともに自主的な学習活動へと広がりを見せています。
- ・高齢者の生きがいづくりや社会参加への支援が課題になっている一方で、中高年の貴重な知識・経験を生かした地域の生涯学習や市民活動の担い手としての役割が期待されています。
- ・生涯学習活動の場となっている施設の老朽化が進行しています。

◇施策の方向

(1) 学習機会の充実

- ・生涯学習講座の充実
- ・地域の身近な学習資源を活用した講座の開設

(2) 自主的な生涯学習活動の支援

- ・生涯学習支援情報の提供
- ・生涯学習講師の派遣
- ・図書館資料の充実と子ども読書活動の推進
- ・生涯学習施設の整備や機能充実

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
生涯学習講師新規登録者数	生涯学習を通して得た知識、技能を地域で実践している状況を示す指標です。増加を目指します。	12人	20人	20人	20人
市民一人当たりの図書貸出数	生涯学習の主要施設である図書館の利用状況を示す指標です。増加を目指します。 図書貸出数（団体除く）／人口	3.7冊	5.0冊	5.0冊	5.0冊

政策 3-3 生涯学習の推進

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
生涯学習講座開催事業 （生涯学習交流課）	市民の生涯学習のきっかけづくりや学習機会の増加を図るため、まなび学園・石鳥谷生涯学習会館・総合支所・振興センター*で生涯学習講座を開催する。	163
生涯学習活動支援事業 （生涯学習交流課）	市民の自主的な生涯学習の活動を支援するため、ふれあい出前講座・生涯学習フェア（まなび学園祭）の開催、まなびキャンパスカードの発行、学習資源検索システム（はなまきまなびガイド）の運用等を行う。	163
若者魅力アップセミナー 開設事業 （生涯学習交流課）	市内の若者の魅力アップを図るため、20歳から40歳までの独身男女を対象に、コミュニケーション能力の向上や自分の魅力を高めるための講座を開催する。	163
生涯学習振興計画策定 事業 （生涯学習交流課）	生涯学習施策の体系及び方向性を示し、生涯学習を具体的に推進していくための取り組みを明らかにするため、生涯学習振興計画を策定する。（H27完了）	163

施策2 青少年の社会教育*

◇目指す姿

地域社会の中で、自立した青少年が育っています

◇現状と課題

- ・少子高齢化や核家族化が進展し、従来のような家庭、学校、地域の機能や役割が変化しつつあり、地域全体で子どもを育てるといよりは、プライベートな生活を大切にするといった風潮がみられます。そのような中で、次代を担う子ども達のためには、家庭や地域、学校等の連携による青少年の健全育成の推進が欠かせないものとなっています。
- ・家庭や地域の環境が変化し、青少年の問題行動や規範意識の低下等が社会問題となっており、本市における犯罪少年及び不良行為少年*数は、平成19年をピークに共に減少しているものの、平成25年はそれぞれ12人、271人が補導されています。
- ・高度情報化の進展により、インターネット上で有害情報が容易に閲覧できるほか、有害図書類の自動販売機の設置など、青少年をとりまく環境は憂慮すべき状況にあります。

◇施策の方向

(1) 青少年活動の推進

- ・青少年活動に対する支援
- ・青少年の社会参加の促進
- ・体験学習の機会の創出
- ・家庭や地域における青少年の育成支援

(2) 青少年を取り巻く環境の浄化

- ・少年センター*と関係機関との連携による街頭補導活動や有害環境の浄化活動

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
地域の行事やボランティア行事に青少年が参加していると思う市民の割合	青少年が地域の中で行事やボランティア活動に加わるなど、地域社会の一員となって育っているかどうか市民の認識の度合いを示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	30.4%	32.0%	34.0%	36.0%
青少年の健全育成活動にかかわった市民の割合	青少年の育成のため、地域での子どもの見守りや健全育成活動など、具体的な市民の取り組み状況を示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	19.7%	23.0%	26.0%	29.0%

政策 3 - 3 生涯学習の推進

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
青少年活動推進事業 （生涯学習交流課）	児童・生徒・青少年の健全育成を図るため、体験活動の場の提供や青少年関係団体への支援を行うとともに、成人式を開催する。	163

施策3 国際都市の推進

◇目指す姿

世界に目を向け、様々な地域の文化や風土を受け入れ、交流しています

◇現状と課題

- ・情報通信技術や交通手段の進展により、国の枠を越えた結びつきが加速し、地球規模での人、物、情報等の交流が可能となっています。
- ・本市では、海外に6つの交流都市を持ち、長年にわたり様々な交流を継続しており、市民が主体となった活動が広がっています。
- ・国を挙げての外国人観光客誘致に向けた取り組みにより、今後は、外国人観光客や定住外国人の増加が予想されます。
- ・本市は、神奈川県平塚市、青森県十和田市と友好都市提携盟約を結んでおり、青少年交流やスポーツ、文化など幅広い交流を行っています。

◇施策の方向

(1) 国際理解の醸成

- ・国際理解を進める機会の提供

(2) 国際都市化に向けた環境づくり

- ・様々な国の人の往来や居住に対応する受け入れ環境の整備
- ・世界に向けた情報発信の充実

(3) 国際交流の推進

- ・姉妹、友好、友好関係都市*との受け入れや派遣の充実

(4) 国内交流の活性化

- ・国内友好都市*に関する情報の発信
- ・国内友好都市*との交流に対する支援

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
海外の姉妹、友好、友好関係都市*との交流など国際交流に関心のある市民の割合	年代を問わず多くの市民が、姉妹・友好都市等との交流を含む様々な交流事業に関心を持っている度合いを示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	38.8%	41.0%	42.0%	43.0%
国際交流事業参加者数	各種講座やイベント、海外からの受入事業等の参加者や姉妹都市等への派遣事業の参加者の総人数です。増加を目指します。	4,946人	5,100人	5,200人	5,300人
国内友好都市*交流事業参加者数	友好都市の平塚市、十和田市との交流事業に参加した人数です。増加を目指します。 出典：花巻市友好都市交流委員会	277人	400人	450人	500人

政策 3-3 生涯学習の推進

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
国際都市推進事業 (国際交流室)	市民の国際理解や国際感覚を養い、国際交流活動を促進するため、国際交流活動や情報拠点となる国際交流センターの運営を行うとともに、(公財)花巻国際交流協会が実施する各種事業等を支援する。	164
国際姉妹都市等交流推進事業 (国際交流室)	異文化の相互理解を深め、国際感覚の醸成を図るため、国際姉妹都市及び友好都市等との中学生等の研修派遣や青少年、市民の受入交流事業を行うとともに、ベルンドルフ市との50周年及びラットランド市との30周年の記念事業を行う。	164
国内友好都市*交流推進事業 (国際交流室)	市民が国内友好都市*の文化を学び、自分たちの文化を再認識するため、国内友好都市*との交流を推進する。	164

基本政策
3-4

スポーツの振興

～いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに親しみ、元気に活動しています～

政策の方針

市民が気軽にスポーツに親しむためには、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツできる環境づくりが必要です。

そのために、地域における生涯スポーツを推進し、スポーツに親しむ機会を提供するほか、競技スポーツのレベル向上や大規模スポーツ大会の開催によるスポーツ交流の拡充を通じてスポーツへの関心が高まるよう取り組みます。

(市民や企業に期待される役割)

◇市民の役割(地域、市民団体等を含む)

- ・生涯にわたり積極的にスポーツに取り組む
- ・スポーツの指導や交流による次世代の育成
- ・地域スポーツ行事の主催と参加
- ・総合型地域スポーツクラブ*への支援と参加
- ・各種大会等で訪れる市外の選手、観客をおもてなしの心で迎える

◇企業の役割(事業所、個人生産者等を含む)

- ・県内プロスポーツへの協賛
- ・スポーツイベントの開催や支援
- ・企業内スポーツの推進やスポーツ大会の実施
- ・スポーツ大会による地域住民との交流
- ・従業員がスポーツ活動へ参加・指導できる環境づくり

成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H28 目標値	H35 目標値
日頃からスポーツに取り組んでいる市民(20歳以上)の割合	市民(20歳以上)の週1回以上のスポーツ実施率を示しています。増加を目指します。 <small>出典：花巻市(市民アンケート)</small>	47.6%	54.5%	65.0%

関連計画

- 花巻市教育振興基本計画(平成19～27年度)
- 花巻市スポーツ振興計画(平成19～27年度)
- 花巻市生涯学習振興計画(平成20～27年度)

施策1 生涯スポーツの推進

◇目指す姿

生涯にわたり気軽にスポーツを行っています

◇現状と課題

- ・本市では、総合体育館第3アリーナの整備や陸上競技場の大規模改修など、市民のスポーツ活動の場を提供してきました。また、スポーツ少年団活動や早起きマラソンなど、地域に根ざした生涯スポーツ活動が定着しています。
- ・その一方で、市民(20歳以上)の週1回以上運動している割合は47.6%(市民アンケート)であり、近年その割合は増加していない状況です。また、ほとんど運動をしていない市民(20歳以上)の割合は40.2%と、運動をしていない市民が多い状況となっています。

◇施策の方向

(1)生涯スポーツ活動の推進

- ・早起きマラソンの推進
- ・多様なスポーツ教室やスポーツイベントの開催
- ・地域のスポーツ指導者等の養成、派遣
- ・ニュースポーツの普及
- ・総合型地域スポーツクラブ*の活動支援
- ・スポーツ施設の整備、維持修繕と有効活用

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値(H25)	H26	H27	H28
地域で行うスポーツ教室や早起きマラソン等の延べ参加者数	地域における早起きマラソンやスポーツ教室などの延べ参加者数です。増加を目指します。	216千人	220千人	225千人	230千人

◇主要事業

事業名(担当課)	事業概要	掲載P
地域スポーツ推進事業 (スポーツ振興課)	地域の生涯スポーツの普及や市民の健康増進と体力向上を図るため、早起きマラソンやスポーツ教室等を開催する。	164
地域スポーツ支援事業 (スポーツ振興課)	地域の生涯スポーツの普及や市民の健康増進と体力向上を図るため、市体育協会やスポーツクラブ、各種実行委員会が実施するスポーツ教室やイベント等の開催を支援する。	164

施策2 競技スポーツの推進

◇目指す姿

競技レベルが向上し、各種大会で活躍しています

◇現状と課題

- ・競技スポーツにおいては、近年、全国規模の大会に出場する選手が増加しています。平成 28 年に岩手県で国体が開催されることもあり、地元選手の更なる活躍が期待されています。

◇施策の方向

(1) 競技力の向上

- ・スポーツ大会の開催
- ・全国大会等の派遣に対する支援
- ・指導者養成や選手強化への支援

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
全国大会出場件数	市内の競技スポーツレベルが向上し、各種大会における活躍を示す指標です。増加を目指します。	123 件	124 件	125 件	126 件

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
競技スポーツ支援事業 (スポーツ振興課)	スポーツ競技力や指導力の向上を図るため、市体育協会や各実行委員会等が実施する競技スポーツ大会等の開催支援や、全国大会等の出場支援を行う。	164

施策3 大規模スポーツ大会の開催

◇目指す姿

スポーツ交流が拡大し、スポーツへの関心が高まっています

◇現状と課題

- ・高速交通網の利便性や全国有数の温泉宿泊施設、充実したスポーツ施設などの地域特性を生かし、大規模なスポーツ大会やスポーツイベントが開催されています。
- ・全国規模の大会やプロスポーツなどのトップレベルのスポーツを身近に触れることで、スポーツに対する関心が高まり、スポーツ愛好者の増加や選手の競技力の向上が期待されます。

◇施策の方向

(1) スポーツイベント・大規模大会の開催・誘致

- ・はなまきスポーツコンベンションビューロー*を核とした大規模大会や合宿等の誘致と開催支援
- ・スポーツボランティアの育成
- ・第71回国民体育大会(冬季大会含む)第16回全国障がい者スポーツ大会の開催
- ・広域的な連携による国際スポーツ大会やキャンプの誘致推進

(2) 大規模スポーツ施設の充実

- ・大規模大会に対応した施設の計画的な改修

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値(H25)	H26	H27	H28
大規模スポーツ大会やイベントの入込者数	<p>スポーツによる交流人口が拡大し、スポーツ交流の機会の充実度を示す指標です。増加を目指します。</p> <p>(1)～(3)への入込者数の合計 (1) 東北規模以上のスポーツ大会 (2) 1千人以上の入込のある県大会 (3) スポーツ興行やスポーツイベント</p>	181千人	184千人	197千人	275千人

政策 3-4 スポーツの振興

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
スポーツ大会・合宿誘致 推進事業 （スポーツ振興課）	交流人口の拡大を図り、スポーツに接する機会を提供するため、大規模スポーツ大会や合宿の誘致を推進する。	164
第71回国民体育大会等 開催事業 （国体推進課）	平成28年に開催される第71回国民体育大会（冬季大会含む）及び第16回全国障がい者スポーツ大会の円滑な運営を図るとともに、全国から訪れる選手、関係者及び一般観覧者へのおもてなしや会場の美化に取り組む。	164
スポーツ施設環境整備 事業 （スポーツ振興課・国体推進課）	快適な利用環境を整えるとともに、大規模大会や国体開催に備えるため、スポーツ施設を整備する。	164

基本政策
3-5

芸術文化の振興

～地域の歴史や文化、先人に誇りを持ち、芸術文化に親しんでいます～

政策の方針

市内の芸術文化を振興させるためには、市民が地域の歴史や文化、先人の理解を通じ、芸術文化に親しむことができる環境づくりが必要です。

そのために、身近な場所で芸術文化に触れることができる機会を拡充するとともに、先人を顕彰し、その功績が理解されるよう取り組みます。また、文化財の適切な保護や活用を図るとともに、地域に伝わる民俗芸能*の伝承を支援します。

(市民や企業に期待される役割)

◇市民の役割(地域、市民団体等を含む)

- ・地域の歴史、文化、先人に対する理解
- ・地域の民俗芸能*の伝承と後継者育成
- ・地域文化財の保存、伝承、掘り起こし
- ・芸術文化活動の実践と発表
- ・市民芸術祭や芸術公演等鑑賞機会の利用
- ・地域の芸術文化施設の運営に対する市民の積極的な参画*

◇企業の役割(事業所、個人生産者等を含む)

- ・従業員の芸術文化活動・鑑賞に対する理解と支援
- ・地域の文化活動に対する理解と支援
- ・文化財の保護伝承活動への理解と支援

成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H28目標値	H35目標値
この1年間に芸術文化活動を行った市民の割合	芸術文化活動を行っている市民の割合を示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市(市民アンケート)	25.1%	30.0%	40.0%
この1年間に芸術鑑賞をした市民の割合	芸術文化に触れ、親しんでいる市民の状況を示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市(市民アンケート)	64.8%	70.0%	80.0%
郷土の歴史・文化に対する誇りや愛着を持つ市民の割合	地域の歴史や文化、先人など普段暮らしている地域・郷土に対する市民の誇りと愛着度を示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市(市民アンケート)	66.2%	67.5%	70.0%

関連計画

- 花巻市教育振興基本計画(平成19～27年度)
- 花巻市生涯学習振興計画(平成20～27年度)
- 花巻市文化財保護指針(平成22年度～)

施策1 芸術文化活動の推進

◇目指す姿

身近な場所で芸術文化に触れ、芸術文化活動を行っています

◇現状と課題

- ・余暇時間の増加やライフスタイルの多様化に伴い、芸術文化の鑑賞のほか、芸術文化活動を通じた健康や生きがいづくりへの関心が高まっています。
- ・市内には多くの芸術文化団体が組織され、様々な活動が展開されていますが、会員の高齢化が見受けられるほか、団体数は平成 21 年の 234 団体をピークに減少傾向にあります。
- ・市民の芸術文化活動の発表の場や鑑賞の場である芸術文化施設の老朽化が進行しています。

◇施策の方向

(1) 芸術文化に触れる機会の提供

- ・優れた作品の鑑賞機会の提供
- ・芸術文化施設的环境整備

(2) 芸術文化活動の支援

- ・市民の芸術活動を発表する場の提供
- ・市民の芸術文化活動に対する支援

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
市民芸術祭参加者数・入場者数	市民芸術祭の各会場の参加者数と入場者数の総数を示しています。増加を目指します。	13,659 人	14 千人	14 千人	15 千人

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
芸術文化推進事業 （生涯学習交流課）	市民が身近な場所で気軽に芸術文化に親しむ環境をつくるため、芸術文化活動の発表の場や優れた作品の鑑賞機会を提供する。	165
芸術文化促進支援事業 （生涯学習交流課）	市民が身近な場所で気軽に芸術文化活動に取り組む環境をつくるため、芸術文化活動団体への支援を行う。	165
芸術文化推進事業 （文化会館）	市民に優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供するため、主催事業を実施する。	165
萬鉄五郎記念美術館企画展示事業 （萬鉄五郎記念美術館）	萬鉄五郎を顕彰するとともに美術に対する関心を高めるため、美術団体が行う萬鉄五郎祭や美術活動を支援する。	165
美術普及活動推進事業 （萬鉄五郎記念美術館）	市民に優れた美術鑑賞の機会を提供するため、企画展覧会や関連する講座・講演会等を開催する。	165

施策2 先人の顕彰

◇目指す姿

郷土の先人の功績を理解しています

◇現状と課題

- ・宮沢賢治、高村光太郎、萬鉄五郎、新渡戸氏など全国的に有名な先人のほか、市民に知られていない花巻ゆかりの先人が数多くいます。
- ・先人をテーマに取り上げた市民講座を開催しているほか、地元学・ふるさと学等として自主的に郷土の歴史や先人を学ぶ機会を設けている例もありますが、功績の調査や顕彰活動、新たな先人の掘り起しが十分できていない状況にあります。
- ・花巻を代表する先人宮沢賢治は、世界各地で多くの方に評価されており、この先人に焦点を当てた取り組みが各地で行われています。

◇施策の方向

(1)郷土の先人に対する理解の促進

- ・先人顕彰施設の展示内容や企画展の充実
- ・市民講座、セミナー等の開催
- ・先人顕彰施設の環境整備

(2)賢治さんの香りあふれるまちづくりの推進

- ・賢治関連施設の環境整備
- ・賢治さんを感じることができる場の充実
- ・賢治関連催事の充実
- ・賢治関連情報発信の充実

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
この1年間に宮沢賢治記念館等の市内の先人顕彰施設を訪れたり、郷土の先人に関するイベントに参加した市民の割合	郷土の先人の功績を理解するため、市民が先人顕彰施設を訪れたり、イベントに参加している状況を示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	29.9%	32.0%	34.0%	36.0%
日常の生活の中で宮沢賢治の作品や考え方に触れる場があると思う市民の割合	賢治さんの香りあふれるまちづくりの事業成果が市民に享受されているかを示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	59.6%	62.0%	64.0%	65.0%

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
賢治のまちづくり推進事業 （賢治まちづくり課）	賢治及び賢治のまち花巻に魅力を感じる市民及び来訪者を増やすため、賢治の作品や考え方に触れる機会を提供する。	165
先人顕彰推進事業 （生涯学習交流課）	郷土の先人の業績を広く紹介するため、市内施設で共同企画展を開催するほか、総合支所等を巡回する先人ギャラリー展を開催する。	165
宮沢賢治記念館整備事業 （賢治まちづくり課）	宮沢賢治記念館の魅力を高め、賢治の作品及び考え方への理解向上を図るため、展示のリニューアルを行う。（H26完了）	165
宮沢賢治童話村整備事業 （賢治まちづくり課）	宮沢賢治童話村の魅力を高めるため、賢治の学校及び周辺施設の整備を行う。	165
宮沢賢治普及・啓発事業 （宮沢賢治イーハトーブ館）	宮沢賢治の人と作品への理解を深め、交流を広げるため、宮沢賢治学会への委託及び補助により、賢治に関する資料・情報の収集及び提供、シンポジウム・セミナー・企画展等を開催する。	165
高村光太郎記念館整備事業 （生涯学習交流課）	高村光太郎を顕彰するため、記念館及び周辺施設の改修を行う。（H27完了）	165
宮沢賢治イーハトーブ館整備事業 （賢治まちづくり課）	宮沢賢治イーハトーブ館の魅力を高めるため、館内機器及び周辺施設の修繕・整備を行う。	165
高村光太郎記念館企画展示事業 （生涯学習交流課）	高村光太郎をより多くの方々に紹介するため、企画展を開催する。	165

施策3 文化財の保護と活用

◇目指す姿

文化財を適切に保護・活用しています

◇現状と課題

- ・現在市内には国・県・市の指定を受けた有形・無形文化財が 279 件あります。また、1,000 ヶ所を超える遺跡が存在しており、開発に際しては発掘調査を行い、適切な保存に努めています。
- ・少子高齢化や人口減少が進行している中、地域の活性化や個性あふれる地域が求められており、その地域の絆を結びつける重要な資産として文化財や伝統的な文化への期待や価値が高まっています。

◇施策の方向

(1)文化財の保護

- ・文化財の調査と指定
- ・市が所有する文化財の適切な管理運営
- ・個人等が所有する文化財の適切な保存のための指導と維持補修に対する補助
- ・地域との情報の共有化
- ・埋蔵文化財保護のための適切な周知と指導
- ・埋蔵文化財の記録保存調査及び分布状況調査
- ・総合文化財センターにおける埋蔵文化財の整理、分類、保管

(2)文化財の公開と活用

- ・各種講座、講演会、セミナー等の開催
- ・文化財を生かした地域事業への協力
- ・説明板や案内板等の改修、設置
- ・見学、周遊コースの設定
- ・文化財関連施設の特別展、企画展の充実
- ・文化財関連施設の再編整備、充実

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
この1年間に博物館等の市内の文化財関連施設を訪れたり、文化財に関する講座・セミナー等に参加した市民の割合	市内の文化財に対する市民の興味・関心を示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	24.0%	26.0%	29.0%	32.0%

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
文化財保護活用事業 （文化財課）	市内にある文化財を保護するため、文化財指定を行い適切な保存管理に努めるとともに、市民文化の向上のため、文化財を積極的に活用し周知を図る。 また、花巻市指定有形文化財「熊谷家」を適正に保存するため、茅葺屋根の葺き替え時期の検討を行う。	166
埋蔵文化財保護活用事業 （文化財課）	貴重な歴史財産である埋蔵文化財を守るため、発掘調査等により適切な保護を行い、遺跡を後世に伝えるための教育普及活動を行う。 また、花巻城跡に対する市民の関心の高まりを背景に、市史跡である本丸をはじめ、二の丸、三の丸を含めた保存活用の検討を行う。	166

施策4 民俗芸能*の伝承

◇目指す姿

民俗芸能*への理解が深まり、伝承活動を活発に行っています

◇現状と課題

- ・ユネスコ無形文化遺産*に登録された早池峰神楽をはじめとして、伝統を誇る数多くの民俗芸能*が各地域に伝承されていますが、少子高齢化による後継者不足により、民俗芸能*の伝承が困難になりつつあります。

◇施策の方向

(1) 民俗芸能*の伝承支援

- ・民俗芸能*の発表の場や伝承活動の場の確保

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
郷土芸能*団体数	地域で実際に郷土芸能*伝承・保存活動をしている団体の数です。現状の団体数の維持を目標とします。 出典：花巻市 花巻市郷土芸能保存協議会、花巻地方神楽協会、花巻市文化団体協議会の加盟団体数	96 団体	96 団体	96 団体	96 団体

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
民俗芸能*伝承支援事業 (文化財課)	市内各地域に古くから伝承されてきた郷土芸能*を保存するため、伝承活動や後継者の育成を支援する。 また、早池峰神楽が国指定重要無形民俗文化財第1号に指定されてから平成28年に40年目を迎えることを記念し、全国神楽大会を開催する。	166

